

# 国のミライをつくる、 唯一無二の挑戦がある

公務員は、想像よりずっとおもしろい。

社会も、未来も。全部、つくれる仕事がここにある。

名は残らないかもしれない、それでも未来は残る。

誰も手を付けていない課題に、最大スケールのルールメイキングで、

すごいことより、意味のあることを。

あなたの熱が、この国のミライをつくる。



ルールメイキングの醍醐味

## 守るべき日常を守り、 新しい日常も創る

「国を動かす日本代表」その誇りが、私たちを突き動かす。

批判や制約も引き受けながら、現場で感じた違和感を放置せず、  
迷いながらも議論し、悩み、責任を背負ってルールにしていく。

この国の舵をとり、変わらない日常を支え、  
時には新しい日常をつくるためにフルスロットルで進んでいく。

ルールをつくる決断の連続が、国の行く末が豊かになるエンジン  
となるよう、今日も日本を主語に考え続けている。

支援だけでなく、**規制によっても**  
**国をよくすることができる**

国民の生活・企業活動が行えるベースをつくる、  
**目立たないけどすごいことをしている**

ニュースのウラに  
人がいる

世の中は基準のないものにあふれている。  
前例のない日本のルールに、  
**自分たちが根拠・答えを導いて設定できる**

日本を主語に  
できる仕事

自分の手でルールをつくり  
日本の未来を発展させる、  
**専門業務の日本代表**

人が普段意識しない、  
**社会の前提**を支えている

ここで決めたルールが、  
**法律の根元**になっている

課題解決のために「実現」まで  
導くことのできる**国のルールを決める**

いわば**治安のグランドデザイン**。  
将来の国民のためを予見し、  
**戦略を立てていく仕事**

攻めと守りを圧倒的なスケールで実現可能な仕事

## 主語は「日本」対象は「国民」 日本まるごと、自分ごと

100兆円を超える国家予算規模のもと、国益のために優先順位を見極め、圧倒的スケールで未来に向けての一手を打つ。

公務員一人ひとりの思考と覚悟が国の意志になり、利益よりも国益を考え、ダイナミックに政策を動かしていく。

その根底には「国民の日常を守るため」と「国をより良く変えるため」の2つの静かな熱がある。

攻める一手も、守る一手も、すべては国の未来へとつながっている。

無限大の思考力を駆使できる、  
想像性・創造性のある仕事

「国の仕組みをこう変えたい」と思うだけでなく、  
仕組みを変え、影響まで与えられる

国の予算は、国民一人ひとりに影響する。  
国民のためを真剣に考え、  
必要性和将来性の最大公約数を目指す

日本と世界の未来を考え、  
自らの手で社会を変える

国を守る存在でありながら、  
日本の可能性を広げ続ける  
存在でもある

国家の未来を  
設計する最前線

利益を追求する民間企業では、  
カバーできない事業もある

この攻めと守りを、  
圧倒的なスケールで動かしていける

対象者を限定できないのは、  
国民全員が対象の範囲となり得るから

想いのつまった政策が、  
暮らしを変えていく

国民の「あたりまえ」をつくり・守る、  
対価性のない感謝

## 人を想い、社会のあたりまを アップデートする使命

社会を前に進める力は、いつだって人を想う心から生まれる。  
人を想い、国を想い、昨日よりも少し良い“あたりまえ”を  
作ることで、誰かの朝が少し安心な朝に変わる。

たとえ目に見える称賛はなくても、現在・未来にわたる国民・  
国益のためになり、損得を超えた「ありがとう」の声だけ努力  
の証が生まれる。

「あたりまえ」をつくり・守る。

その日々を積み重ねた数だけ、誇りを感じられる仕事だ。

「あたりまえ」を支えるだけでなく、  
「あたりまえ」を増やしていく

「人の幸せは何か」という、  
とても大きな疑問かつ国家が考えるべき  
課題に向き合うことができる

感謝されないうままに  
終わる仕事も、  
社会には必要だと思えます

意味がないと思ったことは  
一度もない。  
すぐに結果が出ないことも、  
ちゃんと議論できる組織だと思う

夜道を1人で歩けたり、  
困ったときに相談できる場所があったり、  
あたりまえのように見える社会は  
国家公務員によって支えられている

自分も、家族も、  
友人も、国民の一員

社会からの批判は確かに多い。  
でもそれは国民の願いが  
声になったもの

自分がやったことが表にほとんど出なくても、  
社会が滞りなく回っているなら、それでいい。  
誰かの役に立っている実感は確かにあります

今すぐは新しくても  
次第にあたりまえになっていき、  
自分の仕事が国民の生活に根付いていく

自分たちが関わらなかつたら  
どうなっていたかは誰にもわかりません。  
でも、それでいいんです。  
ニュースにならない状態を守る仕事ですから

多様な経験を積むキャリア形成ができる

## キャリアの可能性は、 この国いっばいに広がっている

「やりたいことが分からない」なら、「やってみればいい」。  
国家公務員には、教育も、医療も、防災も、まちづくりも詰まっ  
ている。

あなたの豊富な経験が国の未来を形作り、あなた自身の可能性  
も最大化する。

50年じゃ足りないほど奥深い世界で、社会の幸せと自分の  
幸せを重ね合わせる。そんな人生はココでしか味わえない。

キャリアをつくるのも、自己実現も、転職では得られない  
成長舞台がこの国すべてに広がっている。

すべての仕事  
いつかの「やりたい仕事」につながっていく

異動の多さは、  
人との出会いの多さでもある

日本の未来を  
動かすキャリア

国家公務員には、  
すべての仕事が詰まっている

「安定」という  
無限の「挑戦」フィールド

全く異なる業種に配属されても  
自分の強みを見つけられるのが公務

社会も、未来も。  
全部、つくれる

専門性を持ちながらも、  
制度やルールづくりにも  
関わることができる点は、  
公務ならではの点だと思います

多様な経験によって  
多角的な視点が養われるため、  
判断の質が確実に高まっていく

同じ組織にしながら、  
転職したかのような経験を  
何度もしてきました

共通認識をもって目的に向かい、  
仲間とともに仕事ができる

## 国家公務員、すべてが仲間 「きれいごと」を本気で形にできる場所

「いい国をつくる」という理想を、ここでは誰も笑わない。

ここには、日本で一番「日本」を考え、成長し続けていく仲間がいる。誰もが理想の実現に真剣だからこそ、組織の壁を越えて力を合わせ、新しい日本を創っていく。

1億2000万人の人助けを人生のテーマにする。きれいごとを本気で形にしたいと願うなら、これほど心強く、挑戦しがいのある場所はないはずだ。



**上司が『何かあったら俺が責任取るから、好きにやってみな』と声をかけてくれた**

「国民のために」という意識が思ったよりもあり、同じ志を持った仲間がたくさんいる

**ここでは誰も、きれいごとを笑わない**

正直若手のうちはあまり活躍できないと思っていたので、若手でも意見を大切にしてもらえるというのは意外だった

一人では成し得ないことも、組織の力を味方につければ有言実行できる

本当に必要な人助けは、損得を考えていてはできない

議員はもちろん、大企業の社長、専門家と一緒に仕事ができ、特別な場所・人に出逢える

より良い未来のために制度を磨き続けるその営みこそが、この仕事の魅力であり、私が前に進む原動力だ

**日本で最もハイレベルな意思決定も、結局は人間が決めていることだと分かった**

日本をリードする  
スペシャリスト集団

入省してから見つけられる価値

社会に感じる「？」<sup>はてな</sup>のため、  
私たちの挑戦がある

「もっとこうなればいいのに」という違和感を、国益という視点で形にする。

入省してから発見する「？」を課題へと昇華し、具体的な解決策を見つけていく。国民全員をユーザーと捉え、社会の仕組みをアップデートし続ける。

すぐには結果が出ないかもしれない。しかし今日の一步が数年後の「あたりまえ」となり、誰かの日常を守る土台になる。

入省後に気づくその価値は、あなたの人生を支える大きな誇りになるはずだ。

**数年後に制度として形になったときに、  
「あのときの仕事がここにつながっている」  
と感じられる瞬間がある**

数字を追う仕事だと思っていたが、  
実際は数字の先にある人の生活を  
考える仕事だった

小さな改善の積み重ねが、  
社会のあたりまえを変えていく。

**次の100年、どうिकास**

**「誰かがやらなければ何も進まないままである」**

国家公務員は、  
全国民がサービスの  
受け手となる

**今日やっている業務が、  
すぐに結果として  
見えるわけではない**

国家公務員は“決められた行政サービスを  
正確に遂行する”という印象が強かったが、  
今はむしろ、社会の変化に合わせて  
制度そのものをつくり変えていく  
“行政の設計者”だと考えています

働く中で

「自分の公務の価値は、社会の姿を正しく映し出す  
“仕組み”をつくり続けることにある」  
と気づいた瞬間がありました

**入省してから初めて、  
「国益」という言葉の重さを実感した**

## 国家公務員行動規範

行動規範は、「全体の奉仕者」(憲法第15条第2項)として国家公務員に共通して求められる行動を分かりやすく言語化したものです。

### 01 「国民を第一」に考えた行動

国を支える国家公務員としての使命感の下、国民を第一に考え、志と意欲を持って誠実に行動する

確かな行政サービスを提供し続けるため、限りあるリソースを効果的に活用し、最大のパフォーマンスを発揮する

### 02 「中立・公正」な立場での職務遂行

特定の個人や組織など一部の利害を偏重せず、中立・公正な立場で職務を遂行する

行政に対する多様なニーズや様々な立場があることを理解し、広い視野を持って職務にあたる

### 03 「専門性と根拠」に基づいた客観的判断

国民からの信頼が得られるよう、常に透明性の高い行政運営を意識した上で、根拠に基づいた客観的判断を行う

知識を深め、スキルを磨き、行政のプロフェッショナルとしての誇りと責任感を持つ